

<ボランティアの心>

校長 佐藤 幹彦



このところ、多くの生徒が左の写真にある「ボランティア手帳」を校長室へ持って来てくれます。

この手帳はご存じかと思いますが、将来、各務原市の「明日の市民」となるであろう市内小中学校の児童生徒が、学校や家庭・地域で自主的にボランティア活動を行うことによって、

「ボランティアの心」や「他を思いやる心」、「自分を見つめる力」を身に付けること、そして各務原市が「人に優しく住みやすいまち」となることを願って、各務原市教育委員会が市内の全児童生徒数分を作成し、各学校へ配布しているものです。私自身、平成17年度に市教育委員会でこの手帳を初めて作成したときの担当をしていましたので、15年以上経った今でも生徒たちに積極的に活用されているところを見ると、大変うれしく思います。

この手帳は、何かボランティア活動を行った場合に、その活動の記録を残すものですが、ボランティア活動を50回行ったら校長へ提出することになっています。そして、生徒が頑張った活動を認証し、認証状として校長印を押して返却します。冒頭に書いたとおり、最近生徒たちが校長室へ来てくれるのはそのためです。中にはすでに2冊目終了という生徒もいて驚きますが、この手帳が、蘇原中の生徒がいつも「ボランティアの心」「他を思いやる心」を大切にしていくこと、そして本校で大切にしている「自律」と「尊重」の姿を具現していく一助となっていくことを願っています。